

## 120717 第12回「国語教育法」講義感想

### タイトル集

- 前期全部の授業にタイトルを付けてみようと言ったから、7月17日は最終授業日。
- いつか出会う生徒のために
- 模擬授業への布石
- 国語の授業の製造過程
- 現役教師から学ぶ「国語科教育」
- 教育実習の心得
- 国語科教育の表から裏、細かな所まで
- 生徒と準備あつての授業
- これであなとも教師の卵の卵のさらに卵
- ストレッチの時間
- 授業トリセツ
- 導く立場とその責任、考えるより先にやってみよう
- 国語教師への第一歩を踏み入れた4ヶ月
- 国語教師になるための第一歩
- ジャンプのためのホップとステップ
- 教師への第一歩!!
- 僕等は教師の卵
- 生徒からは見えない部分、陰のお仕事
- 教師～1年目、前期終了
- 教師になるための第一歩!
- 僕は生徒で、私は先生で。
- 教員見習いへの手引き
- 教育実習へのイメージづくりをコツコツと
- 教える人になるための準備講座!
- 軌跡～教師になるには【導入編】

### 感想集

#### 1 ●●

○授業を成り立たせるには事前の準備が不可欠であると同時に、その授業が成功するしないも事前の準備によるところが大きいということが実感として理解出来ました。「発問」を考えてくることの重要性、板書案を丁寧に作成しておく必要性など、事前に準備しておく際、どこに重点を置くべきかということが分かりました。後期、そのことを踏まえた上で、がんばって授業を行いたいと思います。1回1回の授業が記念日になるようがんばります。

#### 2 ●●

○自分が教育者になりたいのは、できる限り多くの生徒が辛い状況を避けられるようにしたいからです。多くの生徒が幸せに生きていられることと、国語科教育は直接は繋がりませんが、どこかで連結できると信じて勉強を続けます。

#### 3 ●●

○授業が進んでいく中で、抽象的な説明などが増えていき、今自分は「国語科教育法」という授業のうちのどの部分を学習しているのかが分からなくなった時もありましたが、実際に後期に模擬授業をやると思うので、その時に、あの時勉強したのはこういうことなのかと実感できればよいのかなと思います。また、後期に向けて復習しておきます。

4 ●●

○自分が中学や高校の時に受けていた国語科の授業の裏に、これほど多くの準備や計画等があったことを知り、生徒の目の見えないところで、先生方は努力をされていたんだなぁと思いました。自分が教師になったら、自分が伝えたいことを適切な形で伝えられるように、学んだことや実践練習した内容を練習して、自分の力にしていきたいと思います。後期もよろしく願いいたします。

5 ●●

○前期の講義を振り返ってみて、一番インパクトがあったのは「仁和寺の法師」の古文の授業でした。やはり古典を専門としたいと思っていたので、とても勉強になりました。教材研究の大切さも身にしみました。ありがとうございました。

6 ●●

○授業計画や指導案作りなど、実際にやってみて、教師の大変さがよく分かりました。実際に教員になられた先輩方のお話を聞いたのは、参考になってよかったです。自分の課題が分かったので、教育実習までに練習をつんで改善したいと思います。

7 ●●

○前回の授業は、私だけが難しいと感じていたわけではないようだったので、少し安心しました。高校の時に受けていた授業は、こんな風に作られていたのだなど、この授業を受けて思いました。裏側を見ているようで、面白かったです。

8 ●●

○中・高校で授業を受けるだけの立場にいた時は、想像すらしなかった教師の入念な準備と努力・デザイン力の大変さとやりがいを学ぶことができた講義でした。後期もがんばります。

9 ●●

○自分の一度用いた教科書を学習指導要領に照らし合わせてみたり、自分で年間の授業計画を立ててみたりと、「自分の受けてきた授業は、こういう意図でなされていたんだなぁ」という新たな側面が見えてきて、ますます国語の授業が好きになりました。指導案作りの基礎も前期で少し学びましたが、自分一人で作れる気がまったくしません。教育実習への道のりは、まだ遠いということですね…。

10 ●●

○まだスタート地点に立つ前の準備段階という感じだなと思います。しかし、良いスタートを切るためにもとても大切な時間です。まだまだやるべき課題は多いので、頑張らねばと思います。前期の授業で、久しぶりに高校の模擬授業を受けることができて楽しかったです。

11 ●●

○教材研究の重要性を中心に様々なことを学びました。授業一つ一つが幾つもの工夫の結果であることを知りました。これを後期に活用していきたいです。

12 ●●

○授業のやり方を教わりはしましたが、まだまだ足りない事ばかり、アウトプットの苦手な私は、教育実習までの短い間に、どこまでこの悪癖を克服できるのかが、そもそもの問題だと感じさせられました。

13 ●●

○先生が作り出してくださったこの保戸塚クラスの雰囲気はすごく心地良く、前期受講した授業の中で一番なのではないかと感じています。ですが、指導案の練習などに入るにつれて、このクラスはただの授業ではなく、教員養成特訓のためのものであることが、頭だけでなく感覚でも徐々に分かってきました。後期はこの雰囲気に胸を借りて、より積極的な意識がけをしていきたいです。

14 ●●

○実際に授業計画を立てたり、指導案を書いたり、実践的なものが多く、とても勉強になりました。みんなの自己PRを聞くのも毎回楽しみにしていました。実際に教師になった先輩方の体験談は、とても心に残っています。

15 ●●

○いきなり「羅生門」の授業を受けて、とても素敵で良い授業だと思い、いつかこんな授業をしてみたいと感じました。ですが、いきなりは授業はできず、骨格をちゃんと決めてゴールを見定めていないと上手くいかないことが分かりました。後期もよろしくお願いします。

16 ●●

○大学2年生まで教職の授業は、座学ばかりで教師への実感がなかなかわきませんでした。ずっと教師になりたいと思っていましたが、その夢も揺らいでいました。でも、3年生になって、先生のような現場で高校教師を勤めている方の授業を受けるようになって、また熱い思いになってきました。後期はもっと実践的になると思うので、がんばりたいです。

17 ●●

○一年間のカリキュラムについて考えたり、指導案を作ったりと、この講義を受け、「あ～、どうとう本格的に教師になる為の（なれば良いですが…）準備段階に入ってきたな～」という気持ちになっています。後期も引き続きご指導お願いいたします。

18 ●●

○3年生になってやっと”国語科教育”についての勉強がはじまった。何を教えるのか、どう組み立てるのか、そのために何をしなければならぬのか、一通り勉強しましたが、教員は生徒から見えないところでこんなにたくさんお仕事をされているのだなと思いました。私も頑張ります。

19 ●●

○授業の指導案をこと細かに作ったり、学習指導目標を本格的に考えたりしたのは初めてで、すごくワクワクしました。生徒側、教師側の二つの側面から授業について考える、すごく有意義な学びの時間だったと思います。

20 ●●

○これまでは、何となく「教師とは何ぞや！」みたいなことをやってきただけでしたが、今回の授業では、教師になってからしなくてはならないこと、教育実習でやるべきことが分かって、改めて教師という仕事について考えることができました。また、同じような志を持つ仲間と知り合えたことが嬉しかったです。後期も頑張りますので、よろしくお願いします。

21 ●●

○前期の授業をふりかえってみると、自分の考えの甘さが露呈したように思われます。「教える」立場から授業を考えることの大変さを知り、高校時代のずっと寝ていた自分を叩き起こしにいきたい気持ちです。保戸塚先生の講義を聞き、改めて教師って素晴らしい職業だなと感じました。

22 ●●

○半年という短い期間の中で、教師とはどういうものかということ、教師になるために必要なこと、教師になってから必要なこと、とても多くのことを学びました。後期も色々と頑張っていきたいです!!

23 ●●

○専攻が演劇学なので、国語を教えるのに役立つ勉強を2年間ほとんどやっていませんでした。ただ教職の授業をこなしてきた感じでしたので、実習への不安はつきないのですが、この授業を受けて、少しずつ先が見えてきた気がします。その分、不安は大きくなっているのですが、あせらずに自分のペースで補っていかなくてはと思っています。

24 ●●

○大学生になってから実際現場で指導していらっしゃる高校の先生に真剣に教えていただく機会は初めてで、自分にとってはとても充実していて楽しかったです。自分も教師になれるように頑張らないといけないなと思いました。教採まで残り1年、頑張ります。

25 ●●

○あっという間に前期が終わってしまいました。教師になる大変さを実感した3ヶ月でした。前期で学んだことを忘れずに、後期につなげていきたいと思います。

前期で学んだ重要点：段取り／準備